

# 日赤通り

NISSEKI VOICE 広報誌

〒960-8530 福島市八島町7番7号 TEL(024)534-6101(代表)

Vol.57

発行：福島赤十字病院 R5.1.30



本年もどうぞよろしく  
お願いいたします



**基本理念** 「わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します」

**基本方針** 「患者さま中心の医療」「良質な医療の提供」「地域医療機関との連携」「救急医療の充実」  
「災害時の救護活動」「原子力災害対応機能の充実」「健全な経営の維持」

**患者さまの権利** 福島赤十字病院は患者さまの次の権利を尊重します。

1. 良質な医療を公平に受ける権利。
2. 個人の尊厳が守られる権利。
3. 医療上の個人情報（プライバシー）が守られる権利。
4. 診療上必要な情報を得、説明を受ける権利。
5. 自らの意思に基づき医療行為を選択する権利。
6. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利。

**患者さまへのお願い** 福島赤十字病院は患者さまに次の事項を守っていただきます。

1. 適切な診療を受けるために、ご自身の健康状態、病歴などの情報を正確に医療スタッフに提供してください。
2. 診療内容は納得いくまで説明を受け、自ら理解した上で検査・治療を受けてください。
3. すべての患者さまが適切な医療を受けられるよう、病院の規則や職員の指示に従ってください。

## 臨床研修の理念

医師が、医師としての人格をかん養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることのできる臨床研修を行う。

# 2023年 年頭のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、地域医療機関の連携の重要性を強く認識した1年でした。多くの病院で新型コロナ院内感染が発生しましたが、県北医療圏の医療はなんとか崩壊の危機を乗り切ることが出来ました。病院間で緊密に連携した成果であると思います。当院で院内感染が発生した際にも多くの病院に助けいただきました。心から感謝申し上げます。また、9月の精神科病棟休止に関しては、地域の精神科病院の先生にご迷惑をおかけ致しました。お詫び致しますとともに、ご支援に感謝申し上げます。幸い9月以降も精神疾患を理由に紹介をお断りした事例はありませんでした。身体疾患を合併した精神疾患患者さまの入院治療は、当院の果たすべき使命であり、今後も継続して参ります。

さて、今年はポストコロナの病院運営を考えなければなりません。最近の全国的な流れとして、診療科が臓器別に再編されています。臓器別再編により各領域で最善の治療が行えるようになりました。その反面、専門以外の分野は対応困難となることが危惧されます。高齢化社会となり、手術にあたり多くの合併症を抱えている患者さまが増えています。当院でも臓器別再編が進んでいますが、幸い診療科の垣根が低く、多くの医師やスタッフが連携して治療にあたっています。糖尿病や心不全などを治療しつつ手術が予定通り進むよう、外科と内科の連携も取れています。こうした当院の強みを今年も更に進めていきます。

地域医療機関との紹介・逆紹介の推進、かかりつけ医との密接な連携もさらに進めてまいります。昨年、近隣の医療機関を廻り当院の課題などを拝聴しました。空きベッドがなくご紹介をお断りせざるを得ない時期もありましたが、多くのクリニックの先生から「紹介患者をスムーズに受け入れてもらっている」と嬉しいお言葉を聞くことが出来ました。「紹介患者を断らない」という意識を今後も職員で共有してまいります。

救急医療に関しても、第二次救急医療機関としての役割を果たしてまいります。病床100床当たりの救急患者受け入れ数は、当院が福島県内で最多とのこと。多忙な日常診療にあっても「可能な限り救急患者を断らない」という病院職員の熱い意識に支えられた結果であり、誇りに感じています。

当院は、日本赤十字社福島支部福島療院として1943年に設立しました。今年が創立80年にあたります。これからも、医療安全を推進し、紹介患者・救急患者を断らないという理念を堅持してまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

福島赤十字病院長 鈴木 恭 一

こんにちは!

## 福島赤十字訪問看護ステーションです

福島赤十字訪問看護ステーションは、平成10年12月に入江町に設置されました。建物の老朽化等に  
伴い令和4年12月に、福島赤十字病院内に事業所を移転しました。新たな場所で心機一転、皆様によ  
り良い訪問看護の提供ができるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

当ステーションは、地域連携を重視し、在宅療養する利用者様を看護の力で支援しています。訪問  
看護を受けるには医師の指示が必要になりますが、利用者様の4～5割が地域の病院や医院・クリ  
ニックに通院又は在宅診療を受けています。訪問看護の内容は、体調管理から在宅看取りまで幅広く  
行なっています。

### 訪問看護を受けるには

受診している医療機関・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・当ステーションなど各機関  
でご相談ください。地域には、訪問看護の他にも様々な保健・医療・福祉サービスがあります。私た  
ち訪問看護師は、これらの地域の担当者と連携し在宅療養を支援していきます。当院地域医療連携室  
でも相談を受け付けていますのでご利用ください。

### 利用者様からいただいたうれしいご意見（令和3年度訪問看護満足度調査より抜粋）

- いつも本人・家族の不安を取り除いていただき、ありがとうございます。自宅での介護に自信が持  
てます。
- 訪問日を楽しみにしており、健康について以前より気をつかうようになりました。
- 不安だらけの退院でしたが、訪看のおかげで安心して生活できます。
- 看護師さんがみえると父が微笑み、（娘さんが）うれしくなります。

訪問看護ステーション所長 齋藤 泉

## 人工心肺装置システムを更新しました

この度人工心肺装置システムが更新となりました。この装置は主に心臓の手術で使用される生命維持  
装置です。心臓の手術では心臓が動いたり心臓内に血液がある状態では手術が困難である為、一時的に  
心臓（血液循環）と肺（呼吸）を止める必要があります。その代わりとなるのが人工心肺装置です。全  
身の血液を装置に取り込み酸素化をして全身に送ります。この装置の構成についてですが大きく分け  
ると①メイン装置②心筋保護液供給装置③冷温水槽体温調節装置の3つから構成されます。①のメイン装  
置は前述したとおりです。②の心筋保護液供給装置は一時的に止めた心臓に心筋保護停止液という液を  
注入します。止めている心臓を保護し、尚且つ心臓が動き出さないようにする為の装置です。③の冷温  
水槽は手術手技により体温を調節する装置です（手技によつては28℃の低体温にすることもあります）。



新しい装置は誤動作予防のセンサーが旧型の2倍とな  
り操作ダイヤルの微調整も可能となったのでより安全に  
操作が可能となりました。またバッテリー容量増加によ  
り停電時にも安全に駆動可能となっています。最新の安  
全基準システムを満たし工学的・視覚的にも安全に機器  
操作が可能になった為、益々発展する新しい治療にも貢  
献できる装置となっています。

臨床工学技術課長 橋本 健一

## 看護師特定行為とは？

特定行為とは、特定行為研修を受講し専門的な知識・技術を身につけた看護師だけが、医師・歯科医師の手順書をもとに実践できる医療行為です。

日本は2025年に団塊の世代が75歳以上となり、高齢化のさらなる進展が予測されています。超高齢化社会を迎え、チーム医療（1人の患者に複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたること）や将来的な在宅医療の重要性が見直され、また医師の働き方改革も推進される中で、看護師の役割拡大が求められています。そこで、迅速かつ確かな医療の提供とチーム医療の推進を目的として、2015年10月に看護師の特定行為研修制度が設けられました。特定行為は21区分38項目あります。



現在当院では3名の特定行為研修を終了した看護師がいます。うち2名が特定看護師として、病院内で手順書をもとに創傷関連、人工呼吸器関連で活動しています。昨年12月には院内での普及啓発のために、福島県立医科大学看護師特定行為研修センター教授の見城明先生を招き研修会を行いました。

看護の専門性を主体とし、医師と同等の特定行為を安全に実施することで、患者さんの重症化予防や早期回復のために努めていきたいと思えます。

看護部長 鈴木 佳子

## 認定看護師の活動

私は今年度、福島県看護協会からの依頼を受け、「医療機関等における看護力向上支援事業」に参加しました。この事業は、福島県から福島県看護協会への委託事業として平成25年度から実施されています。事業目的は「県内医療機関を対象に、医療機関の要請に応じた認定看護師を派遣し、定期的に研修を行うことにより、看護実践能力を高める」というものです。支援期間は5ヶ月間で、おおむね月1回、依頼があった施設へ訪問し、約1日の時間をかけて講義や実践などの研修を行います。

私は、公立相馬総合病院を支援させていただきました。担当者の「専門的な摂食嚥下ケアを学び、根拠のある安全な看護を提供していきたい」という強い思いを受け、リンクナースを中心に、毎回1時間程度の講義と2～5事例の患者ラウンド、カンファレンスを行いました。障害のを見つけ方や個別性のある対応方法、根拠のあるケアなどのアドバイスをを行い、実践へつなげました。スタッフ達の熱心な看護も加わり、患者さまの回復を何度も経験し、看護の力と可能性を改めて実感することができました。他施設に赴いて活動させていただくという貴重な経験で学んだことを今後の活動につなげていきたいと思えます。

摂食・嚥下障害看護認定看護師 八木沼裕子



公立相馬総合病院のスタッフの皆さんとの集合写真

# 福島赤十字病院 登録医師・医療機関のご紹介

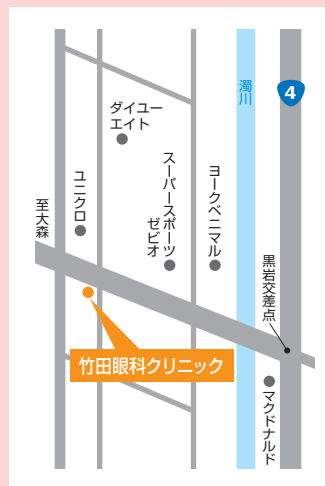
\*医療連携にご協力いただいている医療機関を順次ご紹介いたします。

## 竹田眼科クリニック

■院長 竹田 洋介 先生 ■副院長 竹田美奈子 先生

### ～竹田先生からのメッセージ～

平成8年2月に南福島に開業し、白内障手術を含め、医師2名で眼科全般の診療をしています。糖尿病、動脈硬化等、近隣の先生方には日頃から大変お世話になっております。最近では白内障進行例や独居のため、入院が必要な方も多く、日赤病院紹介の上、山田先生に多数執刀頂いており、感謝の気持ちで一杯です。これからも皆様との連携を大切に、日々努めてまいりますのでよろしくお願い致します。



《診療科》

眼科

《住所》

〒960-8153

福島市黒岩字素利町20-1

《電話》

024-545-8880

《休診日》

火曜午後・日曜日・祝日・第3土曜日

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:45～13:00	○	○	○	○	○	8:45～	×
午後	15:00～18:00	○	×	○	○	○	正午	×

## 内科・循環器内科ひがしはまクリニック

■院長 待井 宏文 先生

### ～待井先生からのメッセージ～

当院は令和3年8月に日赤病院の近所であり東浜町に開業しました。心臓病を中心に循環器医療に特化したクリニックを目指すとともに、その原因となりうる身近な生活習慣病を循環器内科医の目線からしっかりと治療していきます。緊急疾患の多い循環器内科ですが、日本超音波医学会認定の臨床検査技師が常駐しており不意の検査にも対応できる体制も整っております。総勢5名のスタッフとともに風通しの良いクリニックを心がけておりますので気軽にご来院ください。



《診療科》

内科・循環器科

《住所》

〒960-8132

福島市東浜町10-16

《電話》

024-563-1366

《休診日》

日祝祭日 水曜日・土曜午後

\*水曜日午後は市内二次救急病院で検査・手術

\*毎月、最終木曜日の午後に心臓ペースメーカー外来

	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30～12:00	○	○	×	○	○	○	×
午後	14:30～18:00	○	○	×	○	○	×	×

診療時間 土曜日は13:30まで

# 各科の 外来診療予定表

令和5年1月1日現在

原則全診療科予約制と  
なっております

当日の診療ご希望の場合もご連絡下さい。連絡なくご来院された場合、診療が出来ないことがあることをご了承下さい。

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
リウマチ・膠原病内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	富田 昌之	松岡 直紀	富田 昌之	富田 昌之	富田 昌之
	午後 14:00~				松岡 直紀	
消化器内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	黒田 聖仁 紺野 直紀 石崎 優斗 (新患) 児玉 健太	黒田 聖仁 菅野有紀子 浅間 宏之 (新患) 紺野 直紀	児玉 健太 石崎 優斗 浅間 宏之	菅野有紀子 紺野 直紀 (新患) 石崎 優斗	黒田 聖仁 菅野有紀子 児玉 健太 (新患) 浅間 宏之
	午後	富田ひかる (医大/呼内) (新患) 担当医	寺島久美子 (新患) 担当医	佐藤 佑樹 (医大/呼内) (新患) 松岡 直紀	寺島久美子 (新患) 医大/総合内科	(新患) 担当医
内 科	午後			田中 健一 (医大/腎臓内科) (完全予約制) 13:30~15:30		
	午前 11:30迄	佐藤 義憲 (医大/内分泌・糖)	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲	佐藤 義憲
糖尿病・代謝内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	大和田尊之 阪本 貴之 中里 和彦 (医大) (新患) 佐藤 智基	渡部 研一 阪本 貴之 (新患) 大和田尊之	大和田尊之 渡部 研一 (新患) 阪本 貴之	大和田尊之 阪本 貴之 芳賀 文香 (新患) 渡部 研一	渡部 研一 佐藤 智基 (新患) 芳賀 文香
循環器内科	午前 11:30迄 新患は11:00迄	戸田 亘	山本慎之助	長岡 敦子	長岡 敦子	戸田 亘
	午後 15:30迄 再来の方のみ		長岡 敦子	山本慎之助		
精神科 ※新患受入休止 (再診の方のみ)	午前 11:30迄	(一般) 清水 裕美	(一般) 今野 友貴	(一般) 清水 裕美	(一般) 今野 友貴 (医大/神経) 第1・3週 (医大/心臓) 第2・4週	(一般) 今野 友貴
	午後 15:30迄	予防接種	健診 加藤 朝子 (医大/神経) 第4週	予防接種	健診 第2・4週 (予約) 今野 友貴 第1・3週 (医大/神経) 第1・3週	(予約) 清水 裕美
小 児 科 ※受診ご希望の方は事前に電話予約をお願いします。	午前 11:30迄	塚田 学	遠藤 豪一 大須賀文彦	遠藤 豪一 山内 直人 岡野 舞子 (医大/乳腺) (完全予約制)	塚田 学 9:30迄 見城 明 (医大/肝胆脾移植)	大須賀文彦 山内 直人
	午後 14:00~16:30 ※第4週休診 (完全予約制)			望月翔太郎 14:00~15:00 (医大/甲状腺) 13:30~16:30 ※第4週休診 (完全予約制)	ストーマ・スキンケア外来 14:00~16:30	望月翔太郎 ストーマ・スキンケア外来 14:00~16:30 乳腺外来 (完全予約制)
外 科	午前 11:30迄 月・木は 10:00迄	管野 隆三	管野 隆三 井上 卓哉	管野 隆三	管野 隆三	管野 隆三 井上 卓哉
	午後					
呼吸器外科	午前 11:30迄	龍島 彰人	龍島 彰人	龍島 彰人 (末梢血管外来) 10:00~12:00 医大	龍島 彰人	龍島 彰人
	午後	佐戸川弘之	佐戸川弘之			佐戸川弘之
心臓血管外科	午前 11:30迄 火・水・金は 10:30迄	村上 和也 小平 俊介	佐藤 法義 小平 俊介	村上 和也 佐々木信幸 (医大)	村上 和也 佐藤 法義	村上 和也 佐藤 法義
	午後					小林 洋 (医大) 第2・4週
整形外科 ※紹介状をお持ちの方は事前に予約をお願いします。	午前 11:30迄	黒沢 瑞穂 市川 剛	鈴木 恭一	市川 剛 鳴瀬 悠	黒沢 瑞穂 鈴木 恭一	鈴木 恭一 藤井 正純 (医大)
	午後					
脳神経外科	午前 11:30迄	守谷 新	中村耕一郎	中村耕一郎	中村耕一郎 安田 恵 (医大)	守谷 新
	午後					
脳神経内科	午前 11:30迄	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和	元木 良和
	午後					
皮膚科	午前 11:30迄	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子	浅井 笑子
	午後 16:00迄					
形成外科	午前 11:30迄	本田瑠璃子	丹治 亮 本田瑠璃子	丹治 進 (外部医) ※第3週休診	丹治 亮 本田瑠璃子	丹治 亮
	午後					
泌尿器科	午前 11:30迄	矢澤 浩之 大原 美希 福田 薫	矢澤 浩之 大原 美希 矢澤 里穂	矢澤 浩之 10:00迄 福田 薫 大原 美希 11:00迄	矢澤 浩之 11:00迄 矢澤 里穂 福田 薫	矢澤 浩之 10:00迄 福田 薫 大原 美希 11:00迄
	午後 16:00迄 水・金のみ	福田 薫 14:00~15:30 産後2週間健診	30日健診	福田 薫 第1・3週 産後2週間健診 第2・4週	産後2週間健診	佐藤 麻里 (外部医) 第2・4週
産婦人科	午前 11:00迄	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子	山田 文子
	午後 15:30迄					
眼 科	午前 11:30迄 火は11:00迄 木は10:00迄	多田 靖宏 (鼻副鼻腔外来) 三浦 智広 (鼻副鼻腔外来) 大河内幸男	大河内幸男	多田 靖宏 (嚙下・音声外来) 大河内幸男	三浦 智広 大河内幸男	多田 靖宏 三浦 智広 谷 亜希子 (外部医) 第2・4週
	午後 16:00迄			多田 靖宏 (嚙下・音声外来) 松井 隆道 (外部医) 第2・4週		
耳鼻咽喉科	午前 11:30迄	安達 守	出羽 明子	出羽 明子	安達 守	出羽 明子 (緩和ケア外来)
	午後					
麻 酔 科	午前 11:30迄					

本予定表につきましては、都合により変更になる場合がございます。

最新版については、当院ホームページをご確認いただくか、お電話にて確認いただきますようお願い申し上げます。

発行  
編集

福島市八島町七番七号  
〒960-0185  
三〇

福島赤十字病院  
☎(024)534-1601

印刷  
陽光社印刷株